(1四)				1 7	火とい子が	Z Ŧ	伪争未计证	_	1	半队	26 年	0 73	2/日 作成			
事務事業	■サービス	ス部門	環境	5-07 植っ	前定材	性目	巴化事業									
No./名 称	口支 援	部門	24-51		ניוי שא ניכייו	<b>-</b> шл										
主管課	資源循環課						関連課		環境セン	ンター						
分野名	生活環境															
目標 (目標値)	市内で発生	する植オ	、剪定材	を堆肥化する	ることによ	り、	循環型社会の	の形	成を目打	旨す。						
	データ区	☑分	25年度				24年度			2	3年度		考			
人口等のデータ	人		177,895人				177,224人			17	7,204人		年4月1日			
人口寺の)	世帯	数	80,295世帯				79,669世帯			79,	217世帯	(1±	民基本台帳)			
	事業の対象															
	決算値(-	千円)	125,910				134,968			134,577						
	(国・	県)														
	(負担金	等)	71,293		71,975			73,793								
運営資源状況	(一般財源)			54,617			62,993			60,784						
ELEMIN NO	人員配置数			0.5人			0.5人			0.5人						
	人件費(	千円)	4,033			4,323			4,470							
	協働のパー	トナー														
							100.001			400.047						
事務事業	総事業費(		129,943				139,291			139,047						
運営経費	市民1人当りの		, 5 5				786			785						
	対象者1人当りの経費(円)		#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!			•				
ベンチマーク(県内	団体名⇒		鎌倉市	藤沢市	逗子市	_	横須賀市		<b>黄浜市</b>	※平成24年度						
外自治体や民間団体との比較値)	リサイクル	ĕR′	47.8%	30.4%	28.0%		33.9%		25.4%	ボール データ ※平成25年4月1						
	剪定材				実施		実施なし	実施なし		ロデータ ※平成25年4月1						
1F. 1=	落ち葉	== /=r	実施	実施なし	実施な	し	実施なし	夫	施なし	日データ		<u> </u>	B 46 5 5 4 - 2 4 - 3			
指標	評価		年度	22年度			23年度		24年度		25年度		最終年度(27年度			
ごみ焼却量	<b></b>		目標値	39,700t			39,745t		38,523t		37,406t		29,923t			
◎目標を達成 ○目標に △横ばい ×後		•	実績値	40,389t			39,100t		3	7,891t 36		<b>2</b> t				

## 中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

中事業に含まれる小事業の方	内住(子旧が事業の	似女は表面/					
H25小事業名 H25決算値		H26小事業名	H26予算額	A : ਤ	続 C:改善・見直UD:統合縮小 E:廃止・休止		
植木剪定材堆肥化事業	125,910	ごみ資源化事業の一部	147,607	今後の 方向性	В		市民及び造園業者等から排出された植木剪定材 を中間処理施設まで搬送し、堆肥化事業場におい て堆肥化処理を行い、生成した堆肥の一部を市民 及び農家に配布する事業
				今後の 方向性		理由 ·手法	
				今後の 方向性		理由 ·手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ·手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	危機管理の観点から他業者又は複数業者による資源化の可能性についての検討。										
課題解決のための取組	近隣の植木剪定材資源化事業者29者に対し、当市から発生する植木剪定材の資源化に関する調査を実施。 <b>取組の結果</b> □解 決 ■未解決										
未解決の課題	現在と同等条件で堆肥化事業を委託できる事業者が、現在の委託業者の1者しかなく、条件見直しの検討が必要。										
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)										
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	Blき続き、危機管理の観点から他業者又は複数業者による資源化の可能性についての検討を行う。 D							た実・拡大 見状継続 女善・見直し た合縮小 を止・休止		В	
	※□事業完了										
			亚価考名		咨语循₹	要 課里 :	旧出理集	гt	海 去信	=	

資源循環課担当課長

内海 春信

## (2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

事業完了

評価の	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。		事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥 当性はあるか。				
視点	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。				

(単位:千円) 【小事業の評価】 評価⇒適切=O、要改善=△ 小事業名 事業概要 ①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性 市民及び造園業者等から排出された植木剪定材を中間処理施設まで搬送し、堆肥化事業場において堆肥化処理を行い、 0  $\cap$  $\circ$  $\circ$ 生成した堆肥の一部を市民及び農家に配布する事業 【個別事業の評価】 評価⇒適切=〇、要改善=△ ザイムスコード 個別事業名 25年度当初予算 25年度決算値 ①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性 植木剪定材受入事業協力者報奨金 1102 2.084 2.084 0 0 植木剪定材 堆肥化事業 1102 植木剪定材堆肥化事業旅費 Ō Ō Ō Ō 主な個別事業 0 0 0 0 1102 植木剪定材受入事業場維持修繕料 1.000 803 1102 植木剪定材堆肥化事業業務委託料 141,045 122.893 0 0 0 0 1102 植木剪定材受入事業場土地賃借料 128 126 0  $\cap$ 0 0 ЖП 事業完了 【小事業の評価】評価⇒適切=○、要改善=△ 事業概要 小事業名 ①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性 【個別事業の評価】評価⇒適切=○、要改善=△ ザイムスコード 25年度当初予算 25年度決算値 個別事業名 ③有効性 ①効率性 ②妥当性 ④公平性 な個別事業 ЖП 事業完了 【小事業の評価】評価⇒適切=○、要改善=△ 小事業名 事業概要 ①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性 【個別事業の評価】評価⇒適切=○、要改善=△ ザイムスコード 個別事業名 25年度当初予算 25年度決算値 ①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性 な個別事業 ЖП 事業完了 【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△ 小事業名 事業概要 ①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性 【個別事業の評価】評価⇒適切=○、要改善=△ ザイムスコード 個別事業名 25年度当初予算 25年度決算値 ①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性 個別事業 ЖП 事業完了 【小事業の評価】 評価⇒適切=〇、要改善=△ 小事業名 事業概要 ①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性 【個別事業の評価】評価⇒適切=○、要改善=△ ザイムスコード 個別事業名 25年度当初予算 25年度決算値 ①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性 ЖΠ